

# 熊本県で開発した新技術

熊本県農業研究センター

2015

## 園芸ハウスをエア－送風内張2層化すれば燃料消費量が削減できる

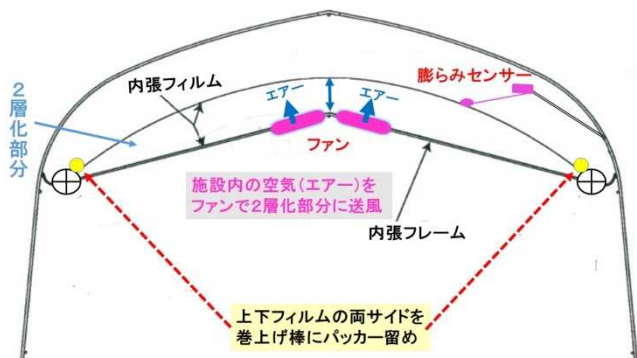


図1 エア－送風内張2層化

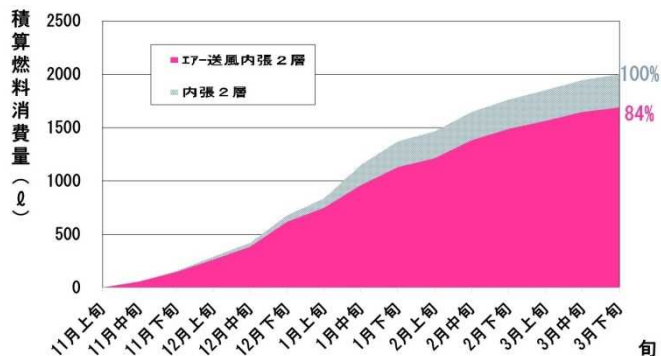


図2 積算燃料消費量

### 問 研究のねらいは？

答 施設園芸農家の経営安定には燃料消費量の削減が重要ですが、省エネ性に優れている内張2層化は、軒高が低く内張フレームの追加が困難な既設のハウスでは導入が進んでいない状況です。そこで、フレームを追加することなく、フィルムを2枚重ねて展張し、その間にエア－を送風して2層化した「エア－送風内張2層化」(図1)を開発し、燃料消費量の削減を図りました。

### 問 優れている点は？

- 答
- ① エア－送風内張2層化の冬季(11月上旬～翌年3月下旬)における燃料消費量は従来の内張2層の84%に抑えられます(図2)。
  - ② 試算の結果から、エア－送風内張2層化の燃料消費量は内張1層の63%に抑えられることとなります。
  - ③ 必要な資材費や削減される重油代などを基に試算した結果、年間経費は内張1層(100%)に対し、従来の内張2層で95%、エア－送風内張2層化では83%となります。

### 問 普及するうえで注意する点は？

答 内張の巻上げをスムーズに行うためには、タイマー等で巻き上げ作業の1～2時間前に送風を停止し、2層化部分をしばませておく必要があります。